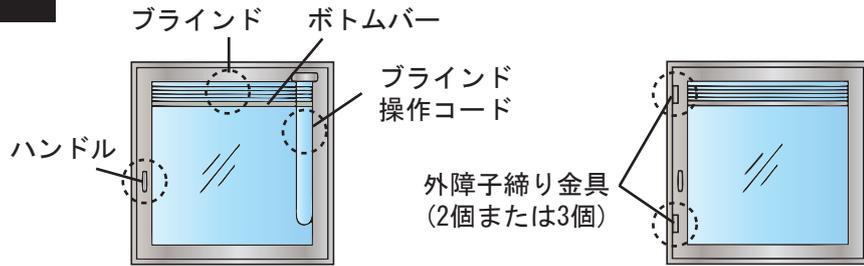


■ 内蔵ブラインドの取扱い（キップドレー）

■ 障子の開閉については、別紙の「キップドレーの取扱い」 32 をご覧ください。

ブラインドの操作

ブラインドの操作コードを操作することによって、ブラインドの上げ下げ、羽根角度の調整ができます。



⚠ 警告



- ❶ 操作ひもまたはボールチェーンが体に巻き付いたり、引っかかったりするようなことをしないでください。窒息などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ❷ 小さなお子様がいるご家庭では操作ひもまたはボールチェーンに手が届かなようソファやベッドなどの踏み台となるような家具を置かないでください。操作ひもまたはボールチェーンがお子様の首や体に巻き付いて窒息などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ❸ 操作ひもまたはボールチェーンに手が届かないよう、高い位置にコードクリップ等で束ねてください。操作ひもまたはボールチェーンがお子様の首や体に巻き付いて窒息などの思わぬ事故につながるおそれがあります。

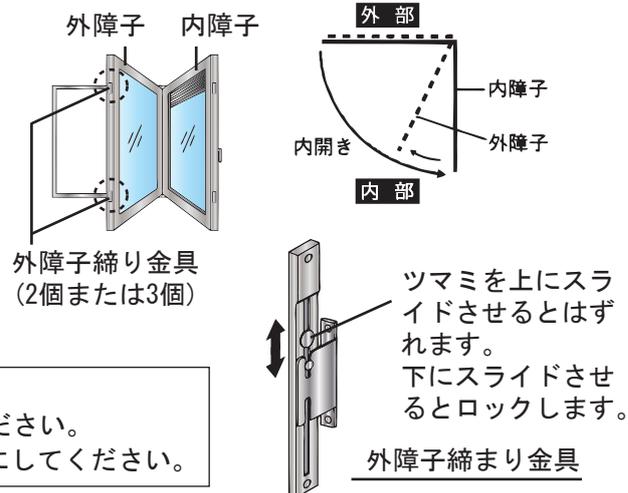
お願い

- ❶ 無理な操作はしないでください。破損・故障につながる恐れがあります。
- ❷ 操作コードが重い場合は、無理に操作しないでください。かみ込みやねじれなどがいないか確認してください。
- ❸ 操作コードが引けなくなった場合、それ以上無理に引かないでください。
- ❹ ブラインド降下時、ボトムバーを下げすぎて下に当たらないように、少し浮かした状態で止めてください。下に当たるまで下げると羽根角度が正しく機能しない場合があります。
- ❺ 小さなお子様がいるご家庭では操作ひもまたはボールチェーンで遊ばせないようご注意ください。操作ひもまたはボールチェーンがお子様の首や体に巻き付いて窒息などの思わぬ事故につながるおそれがあります。

※ブラインドの上端及び下端は、中央部分と比べ遮蔽性に差がでる場合がありますが、これはブラインドの構造上によるもので、故障ではありません。

メンテナンス時の内障子の開閉

- ❶ ブラインドを上げた状態にしてください。
- ❷ 窓を内開き（ドレー）の状態にしてください。
- ❸ 窓先端の外部側たて框の側面にある、外障子締め金具（下図）のつまみを上にスライドさせてください。外障子のロックが解除されますので、手で外障子を開けてください。
- ❹ 閉める時は、上記と逆の動作をおこなってください。



お願い

- ❶ 障子締めが施錠状態になっているか必ず確認してください。
- ❷ 内障子を最後に閉める時、指を障子に挟まないようにしてください。